



鏡野町長  
山崎 親男

あけましておめでとうございます。皆様が健やかに新年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

皆様には、平素より、町政運営に多大なご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

昨年、無投票という形でご信任をいただき、町長という重責を再び担わせていただくことになり、誠に光栄であるとともに、改めてその責任の重さに身の引き締まる思いで新年を迎えています。引き続き皆様の思いに耳を傾けながら、初心に立ち帰って課題に臨み、職責を果たしてまいりたいと考えているところでございます。

さて、町ではこれまでに健康づくりや農林業・観光の振興など様々な施策に取り組んできました。健康づくりでは行政、町民、地域団体、事業者、保健医療関係者が連携し、地域社会全体で町民個々の健康づくりを支援していく体制づくりを進め、健康づくりに対する意識の高揚が図れ、各種検診の受診率も向上しています。農業では、農業

機械の購入補助金制度により、大きな農地を手掛ける農家が増え、林業では、森林づくり条例を制定し、豊かな森林資源を活用する取り組みを考えているところで。

また、町内には、恩原高原や奥津温泉、奥津溪など観光名所が多くありますが、これらの観光資源とウォーキング、トレッキング、サイクリングなどの健康志向の取り組みをマッチングしたイベントの開催により町内外の多くの人に鏡野の良さを知っていただきたいと考えています。

鏡野町は広大な土地ですが、四季ごとに美しい景観や体験を楽しめる北部地域、多くの住民が居住している南部地域、これらを合わせてすべて鏡野町です。それぞれの地域を魅力的な場所と思ってもらえるまちにしていきたいと考えています。そのためにも各種施策に今まで以上に力を入れ、次代を担う子どもたちが将来に希望をもち、誰もが住んで良かった、住み続けたいと感じられるまちづくりにまい進してまいりますので引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

結びになりますが、本年が皆様にとりまして幸多き年となりますよう心よりお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

## 新年のごあいさつ



鏡野町議会議長  
岸 泰廣

新年、あけましておめでとうございます。

平成30年の年頭にあたり議会を代表いたしましたして、謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

町民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、国政では、衆議院議員選挙が実施され、憲法改正論議が加速されること予想されるなど、国民の生活にとって重要な一年となりました。また、日本各地では近年大規模自然災害が続発しており、本町においても、町民の生命・財産を守るための確な災害対策が求められているところで。

国際情勢では、北朝鮮によるミサイル問題や、世界各地で過激派組織によるテロが頻発している状況では、日本も2年後の東京オリンピック開催に向けて、自国の事として早期の対策を講じる必要があると考えています。

国では「地方創生」の推進が打

ち出され、国と地方が情報を共有し、地方自らの考えで行動し、成果を出す姿勢が求められている中で、町としては「かがみの創生総合戦略」により、今後も様々な施策を推進して行く事になります。町民の声を的確に反映させることが町議会の責務であると考えております。こうした中、本町では合併から12年目を迎え、更なる発展をすべく各種施策を展開しているところですが、過疎化、少子高齢化の進展に伴い、課題が山積しているところでもあります。

議会といたしましても、議会改革による活性化を図り、議員自らが研鑽を重ね、活力あるまちづくりに新たな決意を持って取り組み、住民福祉の向上にむけて力を合わせて、努力してまいる所存であります。

新しい年を迎えるにあたり、心を新たに、わが町の躍進の年となるよう、議会も町民の皆様と共に歩んでまいりたいと思っております。

本年も皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。